

I 調査結果の概要

1 農業経営収支の動向

(1) 酪農経営

全国の酪農経営農家1戸当たり（以下、各費目等で同じ。）の農業粗収益は3,408万円で、前年に比べて1.7%減少した。

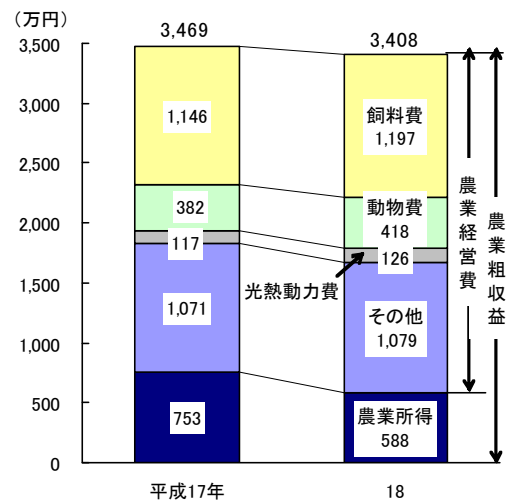
これは、搾乳用育成牛の評価額が低下したことや、乳価の下落により生乳収入が低下したこと等による。

農業経営費は2,820万円で、前年に比べて3.8%増加した。

これは、飼料価格の上昇により飼料費が増加したことや動物費が上昇したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は588万円で、前年に比べて21.9%減少した。

図1 酪農経営の経営収支



(2) 繁殖牛経営

全国の繁殖牛経営農家1戸当たりの農業粗収益は568万円で、前年に比べて7.5%増加した。

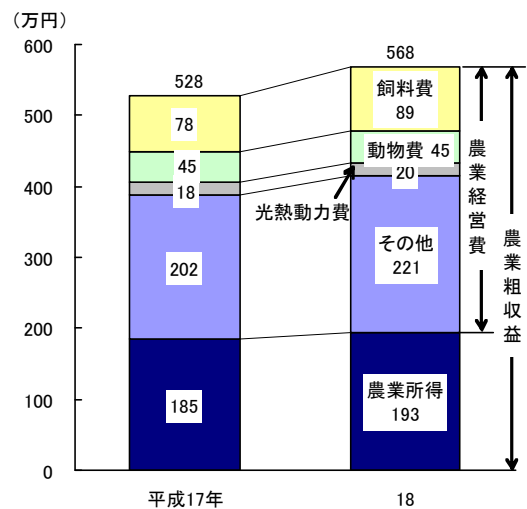
これは、子牛価格が堅調に推移したことによる。

農業経営費は375万円で、前年に比べて9.3%増加した。

これは、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は193万円で、前年に比べて4.3%増加した。

図2 繁殖牛経営の経営収支



(3) 肥育牛経営

全国の肥育牛経営農家1戸当たりの農業粗収益は4,312万円で、前年に比べて2.8%増加した。

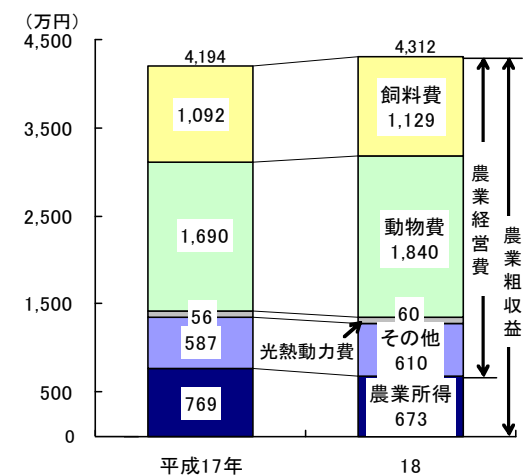
これは、肥育牛の枝肉価格が堅調に推移したことによる。

農業経営費は3,639万円で、前年に比べて6.3%増加した。

これは、肥育用もと牛取得価格の上昇により動物費が増加したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は673万円で、前年に比べて12.6%減少した。

図3 肥育牛経営の経営収支



(4) 養豚経営

全国の養豚経営農家1戸当たりの農業粗収益は4,493万円で、前年に比べて5.8%増加した。

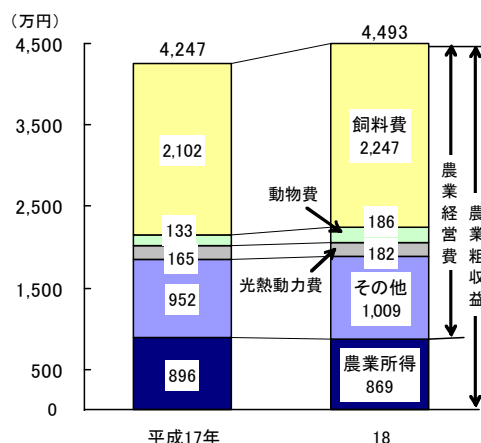
これは、販売頭数が増加したことや、枝肉価格が前年に引き続き堅調に推移したことによる。

農業経営費は3,624万円で、前年に比べて8.1%増加した。

これは、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したことや、規模の拡大により動物費が増加したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は869万円となり、前年に比べて3.0%減少した。

図4 養豚経営の経営収支



(5) 採卵養鶏経営

全国の採卵養鶏経営農家1戸当たりの農業粗収益は3,405万円で、前年に比べて4.1%減少した。

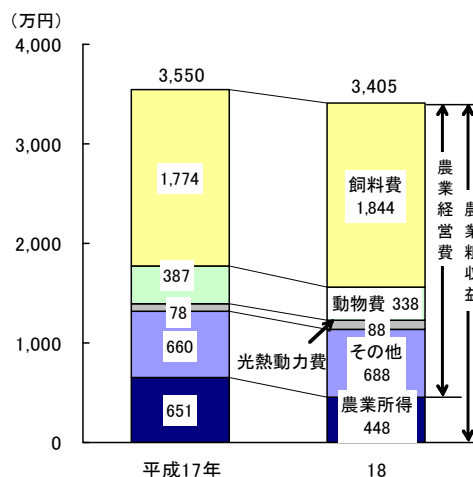
これは、国内の鶏卵生産量は増加したものの、卵価が低下したことによる。

農業経営費は2,958万円で、前年に比べて2.0%増加した。

これは、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は448万円となり、前年に比べて31.3%減少した。

図5 採卵養鶏経営の経営収支



(6) ブロイラー養鶏経営

全国のブロイラー養鶏経営農家1戸当たりの農業粗収益は7,925万円で、前年に比べて3.3%増加した。

これは、出荷羽数が増加したことによる。

農業経営費は7,175万円で、前年に比べて3.8%増加した。

これは、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

この結果、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は750万円となり、前年に比べて2.0%減少した。

図6 ブロイラー養鶏の経営収支

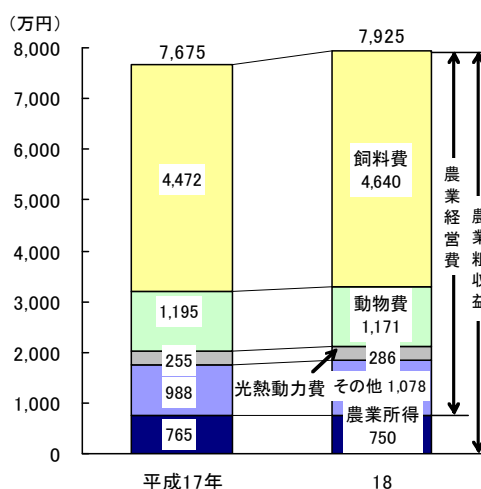


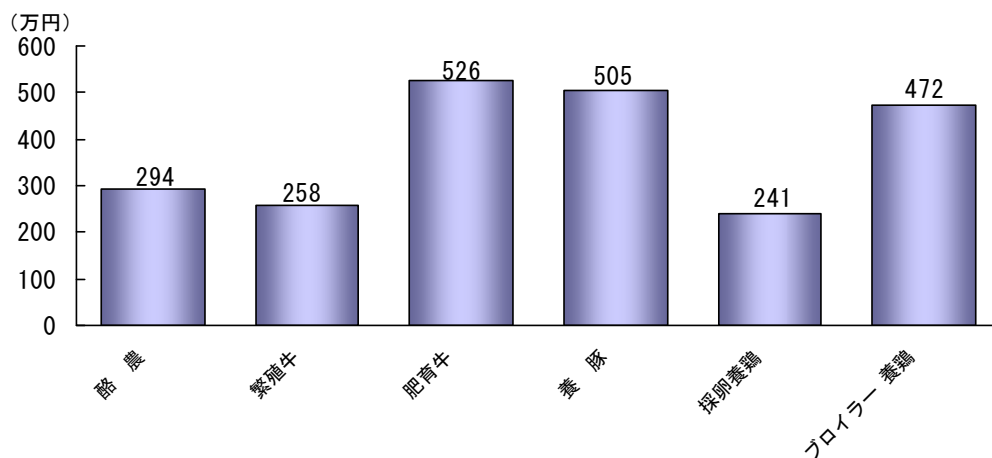
表 畜産の営農類型別経営農家の経営収支の動向（全国・1戸当たり）

区 分	酪 農		繁 殖 牛		肥 育 牛		養 豚		採 卵 養 鶏		ブ ロ イ ラ ー 養 鶏	
	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率
	万円	%	万円	%	万円	%	万円	%	万円	%	万円	%
農 業 粗 収 益	3 408	△ 1.7	568	7.5	4 312	2.8	4 493	5.8	3 405	△ 4.1	7 925	3.3
農 業 経 営 費	2 820	3.8	375	9.3	3 639	6.3	3 624	8.1	2 958	2.0	7 175	3.8
うち、動 物	418	9.6	45	0.7	1 840	8.9	186	39.4	338	△12.6	1 171	△ 2.0
飼 料	1 197	4.4	89	13.8	1 129	3.4	2 247	6.9	1 844	3.9	4 640	3.7
光 熱 動 力	126	7.7	20	13.1	60	7.2	182	10.6	88	12.1	286	12.2
農 業 所 得	588	△21.9	193	4.3	673	△12.6	869	△ 3.0	448	△31.3	750	△ 2.0
飼養頭羽数（頭、羽）	38	2.7	10	0.0	90	0.0	743	5.2	11 761	3.5	167 813	4.6

2 各営農類型の収益性

農業専従者1人当たりの農業所得をみると、肥育牛経営が526万円と最も高く、次いで、養豚が505万円、ブロイラー養鶏が472万円、酪農が294万円、繁殖牛が258万円、採卵養鶏が241万円となっている。

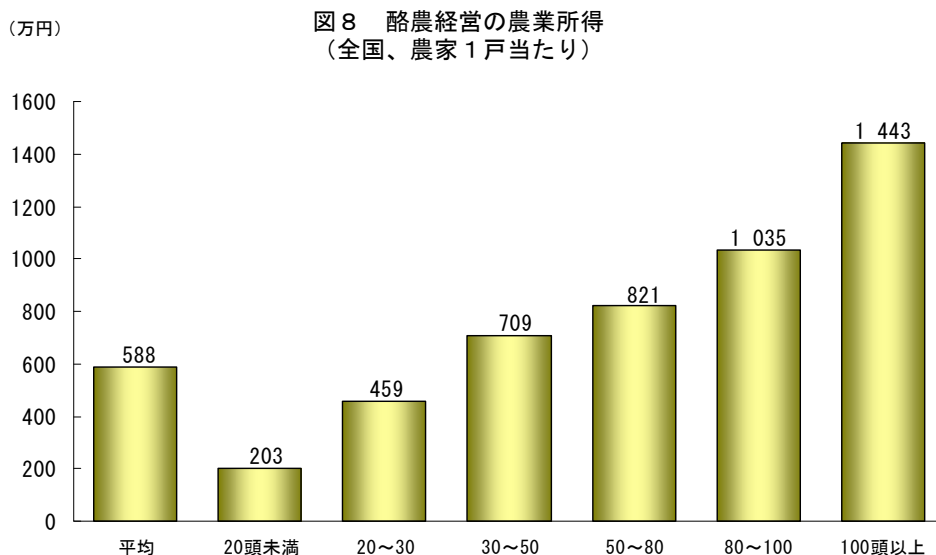
図7 農業専従者1人当たり農業所得



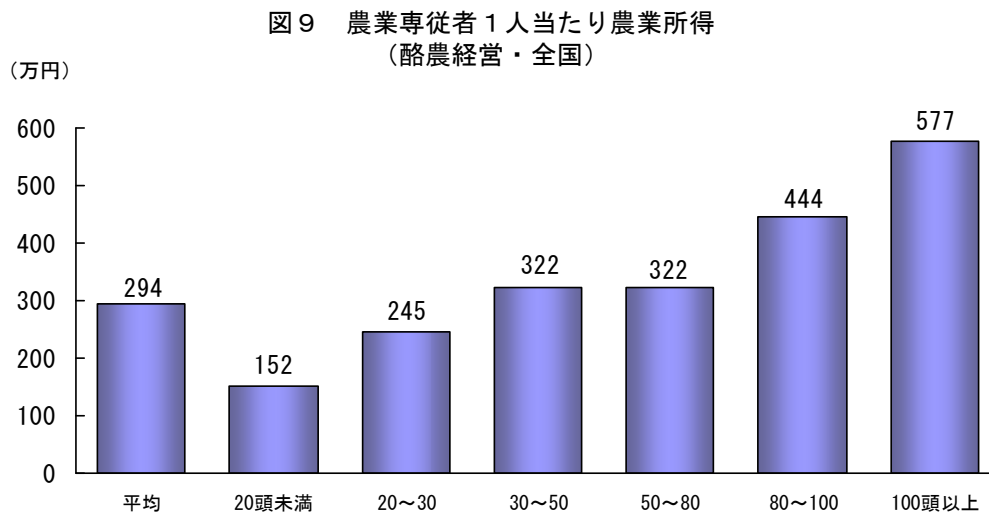
3 飼養規模別にみた収益性

(1) 酪農経営

酪農経営の農業所得を飼養頭数規模別にみると、規模が大きくなるに従って農業所得は高くなり、30～50頭階層以上で平均の588万円を上回り、100頭以上階層では平均の約2.5倍となっている。

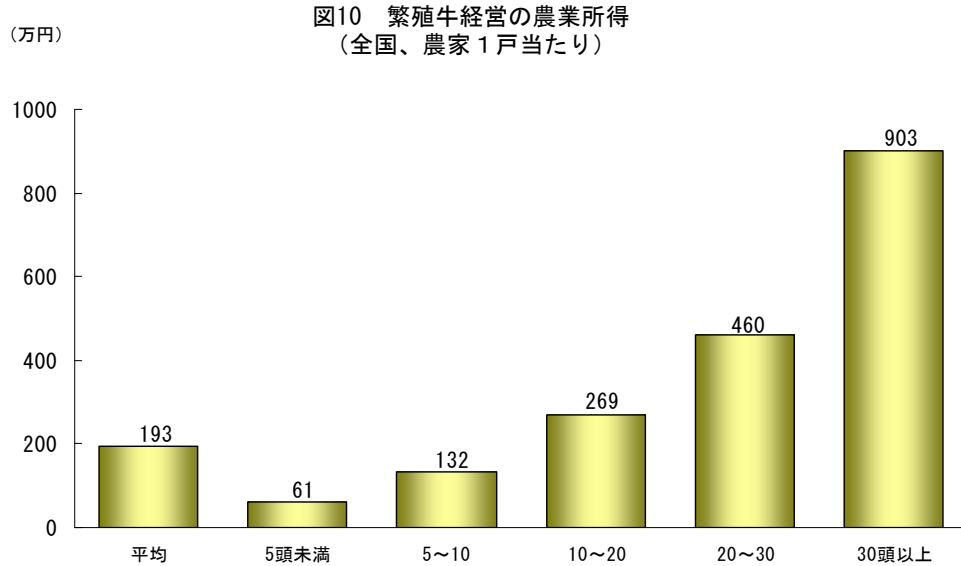


また、農業専従者1人当たりの農業所得は、規模が大きくなるに従って高くなり、30～50頭階層以上で平均の294万円を上回り、100頭以上階層で平均の約2倍となっている。



(2) 繁殖牛経営

繁殖牛経営の農業所得を飼養頭数規模別にみると、規模が大きくなるに従って農業所得は高くなり、10～20頭階層以上において平均を上回り、30頭以上階層では平均の5倍近くとなっている。



(3) 肥育牛経営

肥育牛経営の農業所得を飼養頭数規模別にみると、規模が大きくなるに従って高くなる傾向にあり、100～200頭以上階層で平均の673万円を上回り、200頭以上階層では平均の約3倍となっている。

